

授業科目名	応用行動分析学	単位数	2単位
担当教員名	青木康彦	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
本授業では、応用行動分析学について実践的に学習することを大きな目的とする。本授業を受講した後に習得できる具体的な行動目標は以下の通りである。 (1)心理学の一分野である行動分析学の根源的問い「人間はなぜそのように行動するのか?」に対して、人間の行動は「意識」によって制御されているのではなく、「結果(後続事象)による選択(淘汰)」(Skinner, 1981)であることを理解できる。 (2)ABAの基本原則(強化の原理、消去の原理など)を理解できる。 (3)ABAの実験パラダイム(シングルケースデザイン)を理解できる。 (4)ABAの基本原則を適用して、様々な問題に関わる人間行動(自分の行動を含めて)の制御要因についての仮説を立てられる。特に、子どもの問題行動についてABAの基本原則から理解できる。			
授業の概要			
本授業では、人間行動の原理について、心理学の一分野である、応用行動分析学(Applied Behavior Analysis、以下ABAと略す)の基本原則を理解し、子どもの問題行動を含め、様々な問題にかかわる人間の行動を科学的に理解すること、及び、ABAの実験方法である、シングル・ケース・デザイン(単一事例実験計画法)について理解し、実際の様々な問題に関連する人間行動の変容について指導介入を行うことができるようにすることを目標とする。具体的には「人間はなぜそのように行動するのか?」という科学的な原理を理解し、その原理に基づいた問題解決への方策を立案できるということである。本授業では、B.F.Skinnerによって体系化された行動分析学を人間行動に応用してきている、応用行動分析学の基礎原則を学ぶことで、具体的な子どもの問題行動などの事例についても科学的な根拠を持った指導方法の立案・実施ができる知識と技術を体得する。			
授業計画			
第1回:応用行動分析学の基礎(1)ABCフレームで行動を観察する 第2回:応用行動分析学の基礎(2)機能的に行動を理解する 第3回:指導の意味を考える(1)指導の意味・意義を理解する 第4回:指導の意味を考える(2)指導の具体的な目標・基準を理解する 第5回:具体的な行動の観察、ターゲット行動の決定 第6回:行動の原理(1)正の強化・負の強化 第7回:行動の原理(2)正の弱化・負の弱化 第8回:指導の実践(1)先行子操作 第9回:指導の実践(2)環境調整 第10回:指導の実践(3)プロンプト・フェーディング 第11回:指導の実践(4)時間遅延法 第12回:指導の手続きの作成と記録の取り方、指導効果の判定法(意思決定の仕方) 第13回:ABAを活用する(1)スクールワイドPBS(ポジティブな行動支援)の実践 第14回:ABAを活用する(2)問題行動への対処の仕方 第15回:子どもの視点で支援のネットワークを作るという意味・意義 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
スクーリングでは、応用行動分析学の基本的な理論背景から、具体的な指導へのステップについて、事例を紹介しながら学ぶ。グループ討議や演習を行う。(第1回から第15回全ての内容を横断的に含む。)			
テキスト			
(1)三田地 真実・岡村 章司(2019)『保護者と先生のための応用行動分析入門ハンドブック—子どもの行動を「ありのまま観る」ために』金剛出版、9784772416931 (2)ロバート・E・オニール他 著 三田地 真実・神山努 監訳(2017)『子どもの視点でポジティブに考える問題行動解決支援ハンドブック』金剛出版、9784772415835			
参考書・参考資料等			
(1)若林上総・半田健・神山務・加藤哲文『高校ではじめるスクールワイドPBS—階層的な校内支援体制整備を目指して—』ジヤース教育新社 2020年、ISBN978-4-86371-568-4 (2)石黒 康夫・三田地 真実(著)『参画型マネジメントで生徒指導が変わる—「スクー ルワイドPBS」導入ガイド16のステップ』図書文化 2015年、ISBN:978-4-8100-5662-4 (3)ミミ・ハイネマン他(著)三田地真実(監訳)『子育ての問題をPBSで解決しよう!』金剛出版 2014年、ISBN:9784772413541			
学生に対する評価			
スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			